

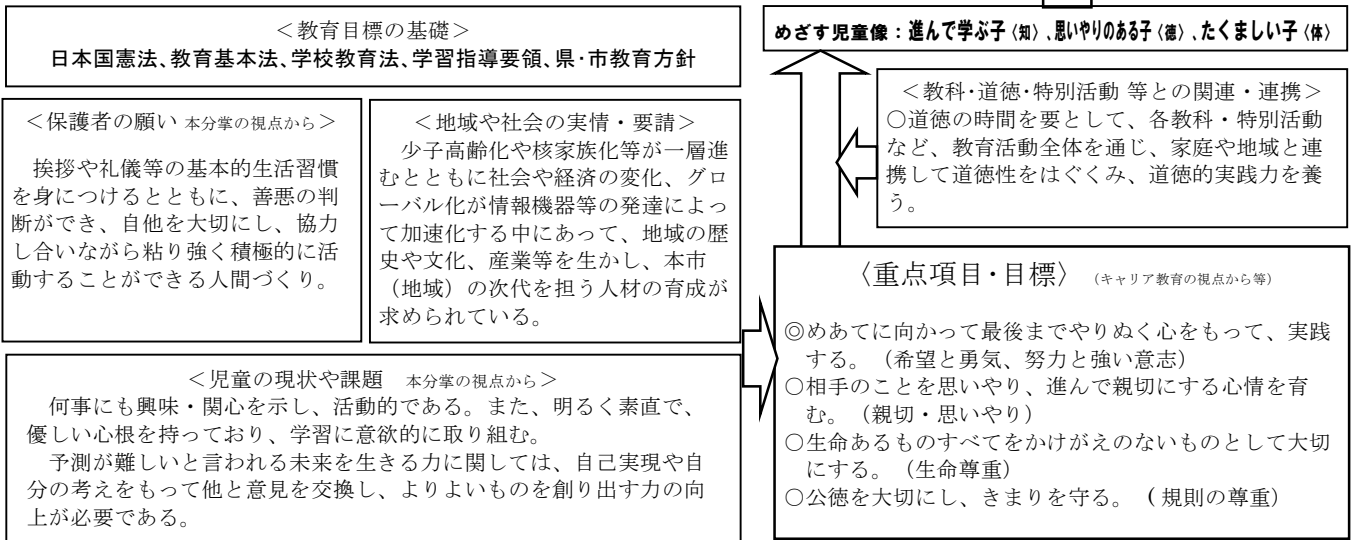
H 主な分掌の全体計画

1 (2) 「道徳教育」全体計画

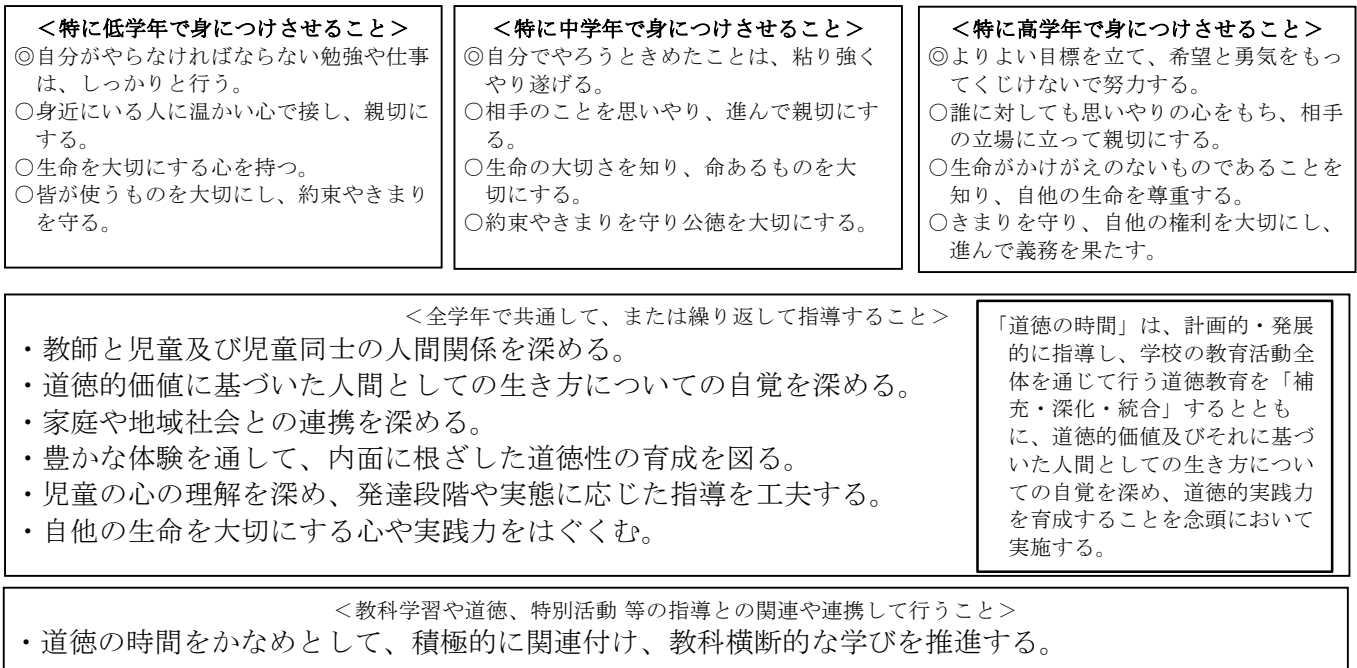
<学校教育目標>

明るく清い資質を備え、
これからの社会の中で
共に元気をもって生きるための
基礎・基本を備えた子どもの育成

「あなたがいてくれて
良かった」と側にいる人に
思ってもらえる人へ



1 各学年段階の目標・めあて (課題)

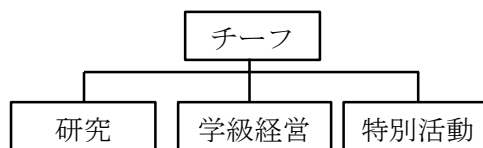


2 打ち合わせや会議、周知等の時間

- (1) 職員会議や校内研修の時間の共通理解はもとより、「道徳の時間」を互いに参観し合ったり、学級通信を配布し合ったりするなど、職員会のコミュニケーションを密にし、道徳教育の充実を図る。
- (2) 幼保や中学校等との連携 (情報交換や授業交流等) を図り、発達段階に応じた指導の充実を図る。

3 組織・分担

- (1) チーフ…道徳教育推進教師
- (2) 組織図



4 取組 (教育活動全体を通じて行うことを念頭に置いて)

- (1) 日々の観察や生活ノート、教育相談等において、個々の児童の変化を捉え、期を逃さず適切な助言を与える。
- (2) 教科や特別活動等と関連をもたせ、体験的な学びにより、さらに道徳性が高まるようにする。
- (3) 保護者や地域に「道徳の時間」等を公開し、連携して道徳教育を充実させる。

5 スケジュール

月	作業項目・留意事項
3月	
4月	
5月	
6月	長崎っ子の心を見つめる教育週間
7月	平和学習
8月	平和集会
9月	
10月	
11月	人権週間、人権集会
12月	
1月	
2月	本年度の課題や成果等を踏まえ、次年度「全体計画」を加除・修正（改善）する。
3月	

<備考・申し送り事項（次年度への改善、残したい良いところ） 等>

- 道徳の時間の授業者を担任だけで行うのではなく、校長や教頭、教務主任をはじめ、担任を入れ替えて授業を行うなど、柔軟な体制にすることも、多様な学びを行う上で検討したい。
- 道徳の評価（記述内容等）についての研修、共通理解が必要。
 - ・道徳の評価については、「道徳の時間」の中での生徒の変容を見て記述するとされている。その際は“道徳性”を評価するのではなく、生徒の取り組み方や考え方の向上等を取り上げる。（普段の生活の中での道徳性を評価・記述するものではない。）
 - ・評価の記述は、指導要録にはポイントのみを記載するにとどめ、通知表には記載しない。